**バイオメカニズム・シンポジウム前刷テンプレートに関する研究**

（1行あけ9pt）

**生体 太郎1† ，機械 花子2**

**1◇◇大学△△学部，　2□□株式会社，**

（2行あけ：9pt）

要旨　このたびは，バイオメカニズム・シンポジウムへ投稿いただき，誠にありがとうございます．以下のご入稿に際しての規定，注意事項にご配慮いただき，ご執筆くださいますようお願い申し上げます．本テンプレートに上書きして原稿を作成することにより，より完成形に近いレイアウト原稿となりますので，フォント（大きさや書体）や行数・文字数、余白などを変えずにご活用ください．しかし，最終的なレイアウトとは多少の誤差が生じますことをご理解ください．なお，本学会の会員の専門分野は，理工学・医学・体育学・人類学など，非常に多岐にわたっています．このため，著者の専門領域以外の読者でも理解しやすいように用語や説明に留意していただければ幸いです．

（1行あけ：9pt）

キーワード：○○○○○，△△△△△，□□□□□，×××××，◇◇◇◇◇

（2行あけ：9pt）

†〒〇〇〇-△△△△ 東京都新宿区大久保1-1-1〇〇〇大学△△△△部□□□□□科

生体 太郎

Tel: 012-345-6789　Fax: 012-345-9876

E-mail: xxxx@xxxx.ac.jp　　＊掲載を希望しない項目は削除してください

1. はじめに

原稿の長さは刷り上りの状態で8ページになるように配慮してください．刷り上り１ページは文字で全部を埋めた場合，2,548字（1行あたり26字×49行×2段）に相当します．

2. 原稿の構成

前刷原稿は，シンポジウムホームページよりテンプレートをダウンロードし，これを書き換える形で原稿を作成してください．

2.1　表紙頁

表題，著者氏名，所属，要旨，和文キーワード（5個程度），著者情報欄（所在地，連絡先等）を記入してください．要旨は和文で，長さは300字程度にまとめてください．

2.2　本文

(1)　原稿の言語

日本語での執筆を原則としますが，英語でも構いません．以下は，日本語を用いる場合の規定ですが，英語を用いる場合はこれに準じてください．本文のフォントは，明朝体（9pt），Times New Roman（9pt）を使用してください．

(2)　用語・単位・記号

文章は，できる限り当用漢字・新かなづかいを用いてください．学術用語は，文部科学省，JISまたは関連学会で定めたものを用いてください．それ以外のものは，慣用の学術用語および技術用語を使用してください．単位は，国際単位系（SI）に則って表記してください．量および単位を表す記号は，なるべくJISで制定されたものを用いて，必要があれば記号一覧表をつけてください．本文中や図表内においては，単位の表記を統一してください．

(3)　章立てと見出し

本文は，章，節，項に区切ってください．見出し番号は全てゴシック体とし，章の見出し番号は『1．，2．，…』（10.5pt），節の見出し番号は『1.1，1.2，…』（9pt），項の見出し番号は『(1)，(2)，…』（9pt）として，行の左端から書き，本文はこれと行を変えて書きます．章と節の前は1行あけます．

(4)　こまどりと句読点

本文は，書きだしおよび改行後の書きだし部分を1こまあけてください．また見出し番号の次も1こまあけてください．句点は『．』，読点は『，』とし，1こまを占めます．『。』『、』の表記は用いないでください．

(5)　脚注

脚注は，本文中では，右側に[[1]](#footnote-1)注1などとつけてください．Webページを参照する場合は，脚注に記述ください．以下の例の通り，サイト管理者，URL，確認した年月日を併記してください．

(6)　文字指定

英字の変数はイタリックとし，その他の英字（単位：kgなど，演算子：sin，detなど，一般用語，固有名詞）はローマンとしてください．

(7)　数式

数式は改行して2行取りとし，字体を明確に書いてください．式は行に対して左寄せで書き，式の右に括弧数字『式(1)』を振り，これを引用してください．分数式を本文中に入れるときは，やのように1行に書いてください．

2.3　図表

図表は図1，表2などの通し番号を付けてください．図表中の文章は原則として和文とします．

原図がカラーでも白黒印刷になるので注意すること．写真は図に含める．写真は濃淡のはっきりしたものが望ましい．

|  |
| --- |
| sobim_握手 |
| 図1 図の見本（バイオメカニズム学会のロゴ） |
| 図表の説明文はここに記入します．(8pt) |

|  |
| --- |
| 表1 表の見本  表の説明文はここに記入します．(8pt) |
| |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | あ | い | | a | 1 | 2 | | b | 3 | 4 | |

（1行あけ：9pt）

2.4　参考文献

本文中での参考文献の引用は，引用箇所の右肩に番号を1) のように記入して行ってください．複数の場合は連続2件までは1, 2)，3件以上は1-3)のように記入してください．

文献の一覧は本文の末尾にまとめて記載してください．また，文献のカンマ，ピリオド，コロンは和文の場合は全角，英文の場合は半角とし, 半角の場合は後ろに半角スペースを入れてください．共著者名や雑誌名は省略せず全て記載してください．英文の場合，表題は最初の文字だけ大文字にしてください．

(1)　雑誌の場合

番号)　著者名：表題，雑誌名，巻(号)，頁-頁，(年)．

(2)　書籍の場合

番号)　著者名：書名，頁-頁，出版社，(発行年)．

(3)　編著書籍の場合

番号) 著者名：表題，編集者名（編）：書名，頁-頁，出版社，(発行年)．

詳細は，本テンプレート末尾の例に則って記載してください．なお，原則として参考文献にWebページのURLを用いることは認めません．

2.5　英文要旨

2段組を1段組に改めた後，和文要旨と同様の，表題，著者名，著者所属名，要旨，キーワード，著者代表者連絡先の各情報について英文で記してください．表題は各単語の先頭のみ大文字とし，著者名の姓は全て大文字とします．要旨の語数は200ワード程度とし，キーワードは5つ程度で各単語の先頭文字は大文字で表記してください．

詳細は次ページの例を参照してください．

謝辞

謝辞を記載する場合は，本文の最後，参考文献の前に書いてください．謝辞の前には章番号は記さないでください．

（1行あけ：9pt）

参考文献

1. 日本太郎，石英硝子：人工の手の機構と運動，バイオメカニズム学会誌，2(1)，10-15，(1993)．
2. Nihon, T. and Tokyo, J.: Biomechanics of joints, Journal of Biomechanics, 3(1), 20-25, (1994)．
3. 東京太郎：バイオメカニズム入門，50-70，日本出版，(1985)．
4. Yamaguchi, G. T.: Dynamic modeling of musculo-skeletal motion, 158-159, Kluwer Academic Publisher, (2001).
5. 鳥居鎮夫：衝動行動，中村嘉太郎，坂田英夫（編）：脳の科学II，123-145，朝倉書店，(2000)．
6. Camuri, A., Morasso, P. and Zacca, R.: Dance and movement, In: Morasso, P., Garozzo, N. and Tagliasco, V. (Eds): Human Movement Understanding, 85-124, North-Holland, (2002).

**Methodology of Preparation of the Manuscript Submitted   
for Journal of Biomechanism**

（1行あけ：9pt）

Taro SEITAI1†, Hanako KIKAI2

（1行あけ：9pt）

1 Department of Xxxxx , Xxxxx University, 2 Xxxxx Corporation

（1行あけ：9pt）

**Abstract** Xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx xxxxx

（1行あけ：9pt）

**Key Words**: Xxxxx, Xxxxx, Xxxxx, Xxxxx, Xxxxx

†Taro SEITAI

Department of Xxxxx, Xxxxx University,

1-2-34, Xxxxx City, Xxxxx, 123-4567, JAPAN,

Tel: 012-345-6789 Fax: 012-345-9876

E-mail: xxxx@xxxx.ac.jp　　＊掲載を希望しない項目は削除してください

1. 注1 バイオメカニズム学会

   http://sobim.jp/（2015年1月28日確認） [↑](#footnote-ref-1)